

一般質問の概要

令和元年第3回 二宮町議会定例会

9月18日（水）午前9時30分～

※2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。

※議員の質問時間は、1件につき40分、2件以上は60分です。ただし町執行部側の答弁時間を含みません。

No	質問予定議員	質問概要
1	前田 憲一郎 議員	<p>二宮町立小学校中学校の充実した学校教育の展開について問う （放映件名：充実した学校教育の展開について）</p> <p>二宮町教育委員会は、学校教育をより一層充実させていくと話されているが、町立小学校・中学校の実態を見ると、児童生徒たちにとって何不自由なく思う存分充実した学校教育が展開されているとは言えないのではないだろうか。令和元年度の学校教育に係る予算を見ても県内他の自治体と比較して少額であり、LAN設備も導入されていない。令和元年度二宮町教育委員会基本方針に記載されているように、特に今回の教育大綱改定時に加えた「新しい時代に相応しい能力を身につけられるよう、児童生徒のより良い学習環境づくりに取り組みます。」にもあるように、学習指導要領の改訂を踏まえ、子ども達が様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、学習環境の整備に取り組みます。とあり、今年度の重点施策が7項目にわたり掲げられている。そこで今年度の重点施策に対する進捗状況を伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 児童生徒の「生きる力」の育成について 外国語教育の充実、コミュニティ・スクール運営の促進はすすんでいるのか 児童生徒の体力・運動能力の現状はいかがか2. すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備について いじめ、不登校、ひきこもり等に対する体制の強化について構築できているのか 教職員の指導力の向上、働き方改革の推進について進んでいるのか3. 児童生徒の学習環境の整備について ICT機器をはじめとした、各学校の教具、教材は充実しているのか4. 将来に向けた特色ある学校づくりのための検討について 小中一貫教育についての進捗状況はいかがか 二宮町立学校再配置実施計画の策定の進捗状況はいかがか5. 地域に向けた情報発信の強化について 町立学校それぞれ独自のホームページを作成していかないのか

2	<p>二宮節子 議員 (2件)</p>	<p>小中一貫教育における学校の配置について (放映件名：小中一貫教育における学校の配置について)</p> <p>令和元年5月に教育委員会より「二宮町小中一貫教育校設置計画」(案)が示され、2030年を目標とした施設一体型の学校の組み合わせが出された。学校の配置については(案)であることは理解するが、2施設4校の内容が先行していて、児童生徒・保護者にとっては更なる詳細な説明が必要であると思える。そこで下記4点伺う。</p> <p>①2施設4校の長寿命化計画は「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」と整合は取れているのか。</p> <p>②通学手段の支援策は。</p> <p>③有効活用と今後の広域避難所について。</p> <p>④町民説明会の意見反映はどのように。</p> <p>認知症の見守り強化 (放映件名：認知症の見守り強化)</p> <p>認知症による行方不明者数は年々増加しており、我が町でも高齢者の捜索アウンスを聞く事は度々あります。見つかるまでの間、ご家族にとっては大変不安な時間であることは間違いありません。2025年には65歳以上の高齢者のうちの5人に1人が認知症患者と推定されており、町でも今以上に見守り強化の施策が必要であると考え、現状と今後の見守り対策について以下3点伺う。</p> <p>①包括支援センターへの相談件数。</p> <p>②徘徊者保護体制。</p> <p>③QRコード付きラベルシールの導入は</p>
3	<p>大沼英樹 議員</p>	<p>町財政の状況と運用について (放映件名：現在の財政状況について問う)</p> <p>1. 予算が無いと言われる町財政、現在の状況はどうなっているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各財務指標の推移と評価はどうか ・評価と未来の見通しをどのように感じているのか ・他自治体と比較してどうなのか ・我が町の将来性をどのように考えているか <p>2. 近年、大幅な基金の積み上げがなされていることについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積み上げてきた要因は何か ・基金残高の推移はどうか ・基金繰り入れと残高は適当か ・目標額はあるか、その理由は何か ・課題対応のために一定の活用方法や方策はないか <p>3. 現在の町政運営と事業のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財源確保・歳出削減への取組みは適当か ・道路などインフラ整備、地区要望等への対応状況は適切か ・財政予算を鑑みて事業の見直しが進んでいるか

4	松崎健 議員 (2件)	<p>村田町政の政治姿勢について (放映件名：村田町政の政治姿勢について)</p> <p>役場新庁舎建設に関しては、3月定例会では予算原案が撤回され、「基本設計委託料」が除外された修正案が可決され、6月定例会では「基本設計委託料」を含む補正予算が否決されました。これに並行して開催された町民説明会では多くの参加者から建設反対の意見が出され町民の理解が得られていない状況が明らかになりました。2度に渡り議会に受け入れられなかったことを受けて、町長からは「この結果を真摯に受け止め」との言葉ありましたが、議会に否定された「基本設計委託」の前提となる「基本計画(案)」がほとんど訂正されることなく、製本され8月21日の特別委員会席上、委員に配布しています。これらの行為はこれまでの議決を無視する行為であり、議会軽視というより議会制民主主義の否定と受け取られかねません。そこで以下問います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今般製本した「基本構想・基本設計(案)」を、今後予定している地域へ出向いての町民説明会においても配布するつもりか。 2. 補正予算反対議員の求めに応じて、新庁舎建設に向けて今後地域に出向いて説明会を開催するとのことであるが、中止して頂きたい。反対議員の多くが求めているのは町の将来に向けたビジョンを示すことと理解する。説明会開催を求めているとの解釈は余りにも強引な解釈である。 <p>また、このほかにも、議会軽視、議会制民主主義の否定と思われる事態が議会と執行者間で見受けられます。標準町村議会会議規則では、「議員は、町(村)の一般事務について、議長の許可を得て、質問することが出来る」と規定しています。この議員の質問権は、町村の重要な意思を決定し、住民に代わって行財政の運営を監視する機能を有する議会の構成員である議員が、行財政全般について執行機関の所信や疑義をいつでもただすことができないとその職務を十分果たすことができないから、議員固有の機能としてあたえられているものであります。そこで以下問います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 二元代表制における執行機関と議会は独立・対等の関係に立っていると考えるが、町長の考えをお聞かせいただきたい。 4. 議員の権能のうち重要なものは質問権と議決権だと考える。しかしながら以前、一般質問のための事前通告の際にその質問はしないようにと、強く促され、結局質問できなかったことがあった。自身、質問を取り下げなければならなかった理由について納得のいく説明は得られていない。町長は職員に対し、議員の質問にどう向き合うように指導しているのか。 5. 質問の内容によって、執行者側の協力が得られなくなりその後の議員活動に支障をきたすことはあるか。 <p>「結果を真摯に受け止める」ということは、議会制民主主義の場においては、一義的には議会において議員の質問に真摯に回答することと考える。次に、町民説明会等の場で町民の質問に真摯に答えることと考える。そこで以下問います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. これまで議会において、議員の質問に対して真摯に正確に答弁してきたか。質問に対する答えになっていない答弁はあったか。 7. 町民説明会において、町民の質問に対し真摯に正確に答えていたか。質問に対する答えになっていない回答はあったか。 8. 聖火リレーコースの選定結果報告を最初に受けたのはいつか。
---	----------------------------	---

バリアフリー化による交通弱者対策 (放映件名：バリアフリー化による交通弱者対策)

生活に必要な移動・外出が困難な高齢者の増加に伴い、自治体やNPO 法人による高齢者のための「外出支援」が様々な形で検討・実施されている。これらは道路運送法による規定によりさまざまな形態（一般乗用許可、一般乗合許可、自家用有償運送）により運用されている他、道路運送法の枠外で市民・住民が担い手となるサービスも行われている。ただ、これらのサービスはいずれも持続させるために自治体からの助成を必要としたり、地域で「乗り支える」ことが求められたり、また、仕組みが構築され地域住民に受け入れられた結果、民業圧迫により従来のバス路線を撤退させ、結果的に地域にとってマイナスになりかねない側面もある。二宮町のバス路線のうち二宮秦野線を除くすべての路線が赤字であることに鑑み、この問題が一筋縄に行かないことを踏まえ、自身、現在この町の「自動車による」移動支援のあり方を模索しているところである。

一方、免許を返納した高齢者等の「交通弱者」の移動手段には「自動車によらない」手段、例えば電動アシスト自転車や電動カート（いわゆるセニアカー）（以下電動アシスト自転車等）の利用が考えられる。これらは何れも利用に際して天候の影響を受けるものであるが、「自動車による」移動支援と違い、ほぼ 100%自分の好きな時間に好きな場所に移動でき運転手への気遣いも発生しない点で、「自動車による」移動支援を補完するものとして、今後のさらなる交通弱者への電動アシスト自転車等の普及を期待している。

交通弱者を身内に抱える一人として言えることは、この問題は交通弱者本人だけの問題ではなく、支える身内の負担増に直結する問題であるということである。免許返納した高齢者が 1 年でも 10 年でも長く身内に頼らずに自ら自由に移動できることは、本人のみならず支える身内にとっても歓迎すべきことである。

「自動車による」移動支援の決定打が見つからない現在、免許を返納した高齢者等が安心して移動できる仕組みとして電動アシスト自転車等の普及に言及したが、高齢者への普及の妨げになっている原因の一つとしてインフラの未整備が考えられる。実際に免許返納後の移動手段として電動アシスト自転車を購入した高齢者に聞いたところ、「購入したが、道の段差が怖くて乗っていない。」とのことであった。高齢者が電動アシスト自転車等を運転する際に怖さを感じるような段差の解消（以下、バリアフリー化）が求められる。そして、バリアフリー化が完了するとともに電動アシスト自転車等の通行を優先し自動車の通行を規制したルートが住宅地から途切れなく商業施設や二宮駅、医療機関（以下、商業施設等）につながるにより電動アシスト自転車等の利便性は格段に増すものと考えられる。

また、このルートは高齢者のみならずベビーカーの通行や電動アシスト自転車に複数の子を乗せて送迎する子育て世代にとっても有用なものとなる。

前例の見当たらない試みであり前述のルートの名称は確定していないが、仮に「買い物路」とする。これは「各学校が、児童・生徒の通学の安全の確保と、教育的環境維持のために指定している道路」を「通学路」と命名し、運転者に安全運転を促すことをなぞらえたものである。「買い物路」を通行するドライバーにも「通学路」と同様に安全運転を促すものである。この「買い物路」をどのように設置するか百合が丘を例に考えてみたい。

百合が丘は少子高齢化、人口減少が進んではいるがバス通りの中には近年非常に交通量の増加した通りが目立つ。然しながら、その裏通りは殆ど車の通っていない

い通りがほとんどであり、従って、この裏通りの一部並びに既存の歩道をつなぐことにより「買い物路」を設置することを考える。
そこで、以下の点について伺う。

1. 町内の歩道のバリアフリー化はどの程度進んでいるか。
2. 高齢者等の交通弱者が安心して電動アシスト自転車等に乗れることを目的としたルート（買い物路）が必要出ると考えるが、設置を考えているか。
3. このような計画（買い物路）を助成する国の補助はあるか。

「買い物路」を商業地区や二宮駅並びに医療機関までリンクさせることによりその利用価値は格段に増す。然しながら例えば百合が丘から中里の商業施設や二宮駅に出ることを想定した場合、裏通りをつないで「買い物路」を伸ばすことができない橋等のネックとなる部分が何か所も存在する。また、中里の商業施設近辺の歩道は車道より一段高くなっていて歩道の切り下げ工事箇所が複数存在して段差を作っている。さらに、電動アシスト自転車は原則として歩道の走行が認められないため交通量の多い車道を通行することになり、高齢者には不安である。

一方、最近道路工事が行われると、道路の形状は段差がない形へと変更されている（中里歩道橋下の横断歩道、北口通商店街北端の葛川に架かる橋の歩道、二宮小学校から吾妻山南側のマンション正面にかけての歩道等）。さらに、交通量の多い秦野街道の歩道の一部には「歩道通行可」の標識があり、歩道の自転車の通行が認められている箇所がある。
そこで、以下の点について伺う。

4. 町内の歩道の切り下げ等による段差の現状について。
5. 歩道の段差を解消させる方向での町の整備計画について。
6. 歩道の段差を解消させる方向での県へ働きかけているか。
7. 「買い物路」設置のために交通量の多い道路の歩道を「自転車通行可」とする考えはあるか。
8. 「自動車による」移動支援の仕組みが確立できないために、高齢者が安心して免許を返納出来ない現状、更に免許を返納したら住み続けることが困難な地域が町内に散在している現状に鑑み、「買い物路」を整備することにより、交通弱者が電動アシスト自転車等により自由に出かけられるようになる発想についてどう考えるか。

5	<p>露木佳代 議員 (2件)</p>	<p>地震が起きた際の、業務継続計画（BCP）について (放映件名：発災後の業務継続計画（BCP）について)</p> <p>二宮町では、平成 29 年 3 月に「二宮町業務継続計画【地震編】」を策定している。その計画から抜粋すると、「業務継続計画とは、災害時に行政自らも被災し、人、物、情報等利用できる資源に制約がある状況下において、優先的に実施すべき業務（非常時優先業務）を特定するとともに、業務の執行体制や対応手順、継続に必要な資源の確保等をあらかじめ定める計画である」となっている。実効性のある業務継続計画であるために以下について問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 業務継続計画の被害想定や職員参集想定など、計画の前提となる条件について。 2. 災害対策本部の運用について。 3. 非常時優先業務と、必要な資源の確保対策について。 4. 発災後の業務執行を円滑に行うための対策について。 <p>公共施設予約システムについて (放映件名：公共施設予約システムについて)</p> <p>7 月から利用が開始された「公共施設予約システム」は、空き状況の表示のされ方により、非常に手間がかかることや、予約できるタイミング等の関係で、使いづらさを感じるという声を聞く。本来であれば、システム導入により、使い勝手が良くなる、手間が省ける、わかりやすい、平等に予約ができる、など大きなメリットが得られるはずだが、現状は始まったばかりということもあって課題が目立つ。システム変更できない部分や、パソコンやスマホが使えない利用者に対しては、窓口や電話などの運用面でのフォローが必要である。課題に対して、どのようにしていくのか町の見解を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 予約システム導入の目的と、解決したことは。 2. 導入後に生じた課題や改善方法について。 3. 施設ごとの違い（予約開始時期や抽選時期、利用料の支払い方法等）の整理は。 4. 町が独自で立ち上げることが比較的容易なシステムである。検討は。
---	-----------------------------	--